

スカパーJSATグループ 2020年度下半期番組審議会（議事要旨）

（スカパーJSAT 第35回、スカパー・エンターテイメント第28回）

開催年月日：2021年3月10日（水）

開催方式：リモート形式での集合開催

新型コロナウイルス感染拡大防止及び番組審議会参加者の安全確保の観点から、リモートシステムを利用して開催。ご都合のつかない委員からは事前に書面でのご意見を提出いただいた。

出席者

（審議委員）

委員数：7名

出席委員数：7名（うち1名は事前に書面で意見提出）

審議委員長：高畑 文雄

委員：崔 洋一

委員：二宮 清純

委員：草野 満代

委員：田中 里沙

委員：安田 洋祐

委員：山本 浩二（書面参加）

（スカパーJSATグループ）

高田 真治：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員会長

米倉 英一：スカパーJSAT(株) 代表取締役 執行役員社長

小川 正人：スカパーJSAT(株) 取締役 執行役員専務 メディア事業部門長

手塚 久：スカパーJSAT(株) 執行役員 メディア事業部門長代行

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

三上 武典：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第1ジャンル事業部長

明石 静：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第2ジャンル事業部長

渡部 康弘：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第3ジャンル事業部長

（報告者）

安井 達也：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第1ジャンル事業部

渡辺 里沙：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 第2ジャンル事業部

奥永 孝仁：(株)スカパー・エンターテイメント 代表取締役社長

（事務局）

加藤 健：スカパーJSAT(株) メディア事業部門 メディア事業本部 コンテンツ推進部長

植田 恭輔 / 山田 巳奈 / 長田 里子：同 コンテンツ推進部

<番組審議>

審議番組 (1) 『マサ NOTE ～山本昌が記す球人の軌跡～』

報告者：安井 達也

◆放送概要

放送日：2020年11月19日（水）開始 毎週（火）19:00～21:00 他

放送チャンネル：BSスカパー！/スポーツライブ+

配信：スカパー！オンデマンド

◆番組概要

現役生活 32 年 - 50 歳までプロ野球選手として腕を振り続けた山本昌が MC として再登板！球界のレジェンドが偉大な野球人の生き様をじっくりと振り返り、新たな学びを得ていく。山本昌だからこそ引き出せる球人の知られざるエピソードや貴重な話はもちろん、何度聞いても色あせない鉄板エピソードも多数お届け。

【出演者】

出演：MC：山本昌、アシスタント：袴田彩会、山田幸美 各回ゲスト

◆番組企画意図

本番組は、プロ野球ファンの視聴者向けに、オフシーズン期間のコンテンツ強化の一環として制作を実施。スカパー！はセ・パ公式戦全試合を放送/配信するため、特定の球団によらずに全 12 球団のファンを意識して制作。プロ野球のシーズンオフ期間前より番組をスタートし、プロ野球セット契約の解約防止も目指した。

◆審議委員会からのご意見

- 番組のコンセプトもしっかりしており、安心して視聴できる番組である。MC の山本昌氏がゲストからいいトークを引き出している。また、ファンにとってはオフシーズンの番組は非常にうれしいと思う。
- オフシーズンの対策番組としては、契約者数の推移を見ながら、ゲスト等を検討することにより数の動きも出る可能性があると思う。特に新規層向けには TwitterTV など有効な取り組みと考えられる。是非後日、取り組みの成果を聞きたい。
- 番組全体は、各種の演出をそぎ落として作られているが、背景音楽等の演出がもう少しあってもいいと感じた。番組内の情報も、写真や文字は使われているが、アーカイブ動画なども取り入れて視聴者に説明する要素があってもいい。そして、演出くささを感じさせない、徹底した緻密な構成と演出を求めたい。
- 安定している反面としてサプライズ的な内容を加えることで、より一層番組の内容が深まるはず。MC が時々破目を外す部分が見えてくると、それがさらなる面白さにつながる。また、MC 自身の考え方を時に主張し、今の現役世代の選手たちに伝える手段が番組を通じて出てくることも期待したい。

➔ 大変貴重なご意見をいただき感謝いたしますとともに、番組プロデューサーとして視聴者の方々にはいかに楽しんでいただくかという点に創意工夫を凝らしてまいります。

審議番組（2）『Sexy Zone の進化論』

報告者：渡辺 里沙

◆放送概要

放送日時：2020年4月10日（金）開始 毎月第2・第4（金）23:30～24:00 他
放送チャンネル：フジテレビ TWO ドラマ・アニメ／（ダイジェスト）フジテレビ地上波／BSスカパー！
配信：スカパー！オンデマンド

◆番組概要

「いつから、大人だったんだろう？いつまで、子どもだったんだろう？」

メンバー全員が20歳を超え大人に成長したSexy Zoneが、さらに“進化”するべく、様々なことに挑戦する成長バラエティ。次々と訪れるチェックポイントをクリアし、4人は進化を遂げることができるのか！？

【出演者】

Sexy Zone（佐藤 勝利、中島 健人、菊池 風磨、マリウス 葉、松島 聡※第10話からの出演）

◆番組企画意図

CS放送ではジャニーズ事務所所属のアイドルが出演する番組が非常に少なく、希少価値が高い。そのため、チャンネル契約の促進とスカパー！オンデマンドでの販売収入を目的とした。また、今回のSexy Zoneはデビュー10周年を迎える中堅アイドルグループだが、メンバー全員がそろって出演するバラエティ番組は数少なく、ファンも待ち望んでいるため、スカパー！で展開を進めるファンマーケティングの考え方にも即しており、番組制作することとした。

◆審議委員会からのご意見

- 番組のターゲットが、明確に“Sexy Zoneのファン”であるため、普段見られない彼らの姿や等身大の様子がいいのだと思う。ファン以外の人が見ると、単に男子校的なノリでワイワイとやっている番組は面白くない。しかし、スカパー！の番組として、このような形式は有効と思った。
 - 地上波テレビ等との連携は有効に機能したと思う。シーズン2を望む声もあったので、期待したい。
 - シリーズ内で各種のテーマが盛り込まれており、大人に成長するための様々な企画に取り組んでおり、当初想像していたよりも番組として引き込まれて見ることができた。
 - 番組の一部に、見方によっては職業差別とも取られかねないような不適切な部分があった。番組構成を事前に緻密に準備をすることで改善可能な部分でもあるので、今後の制作の際には、丁寧な事前準備と考査対応を行って欲しい。
 - ファンに向けて評価が高い番組を作り上げていくことと、出演者や協力していただいた企業との良好な関係を積み上げていくことは、視点は違えど、いずれも重要なこと。この時代に、多数のファンから、手書きのレターが大量に届くことにも、ファンの心をとらえたことを感じた。今回の番組をきっかけに放送外の協力関係への発展も考えられるので、中長期的な経営戦略につなげていくよう尽力してほしい。
- ➔ いただきました貴重なご意見を踏まえファンマーケティングを更に推し進めてまいります。また、放送倫理の向上につきましても、ご意見を踏まえ更に意識を高めてまいります。

<報告事項>

スカパー・エンターテイメントの番組審議について

報告者：奥永 孝仁

<報告内容>

(株)スカパー・エンターテイメントでは、衛星基幹放送事業者として、2Kの7チャンネル、4Kの8チャンネル、合計15チャンネルを110度上で運営。また一般放送事業者として計140チャンネルの運営。

2019年上期より、番組出演者の不祥事等の事象が相次ぎ発生し、放送番組の変更などの対応のため(株)スカパー・エンターテイメント/スカパーJSAT(株)での内規を制定。その後、昨年9月に対応判断基準を更新し、各事業者へも共有・周知を実施した。社内でも「放送倫理とガイドライン」勉強会の実施と、放送倫理にかかるトピックスを共有するメディアレポートの配信等を行い、放送倫理の向上を図っていく。

以上